

# 平成26年度国債管理政策の概要

## 国債発行規模

- 平成26年度の国債発行総額は181.5兆円となり、過去最大。一方、カレンダーベース市中発行額(入札による市中への発行額)は、平成25年度において借換債の前倒し発行が進んでいることなどから、減少(20年度以来6年ぶり)。

## 平成26年度の主な施策

### ○ 平均償還年限の長期化

- 平成26年度の国債市中発行については、市場参加者の意見も踏まえつつ、超長期から短期まで年限間のバランスのとれた増額・減額を行うことにより、平均償還年限を長期化し、借換リスクを低減(平均償還年限8年5ヵ月(対前年度+6.6ヵ月))。

### ○ 国債市場の流動性維持・向上

- 国債市場の流動性維持・向上の観点から、流動性供給入札の規模を拡大(月1,000億円の増額)。また、同入札の対象を新規発行銘柄以外の全銘柄に拡大。
- 20年債についても、1銘柄当たりの発行規模を拡大するため、原則リオープン方式を適用。

### ○ 物価連動債市場の育成

- 平成25年10月に発行を再開した物価連動債について、公的年金等の投資ニーズも踏まえて増額。
- さらに、四半期ごとの市場参加者との意見交換を踏まえ、投資ニーズに応じて、柔軟に追加発行。

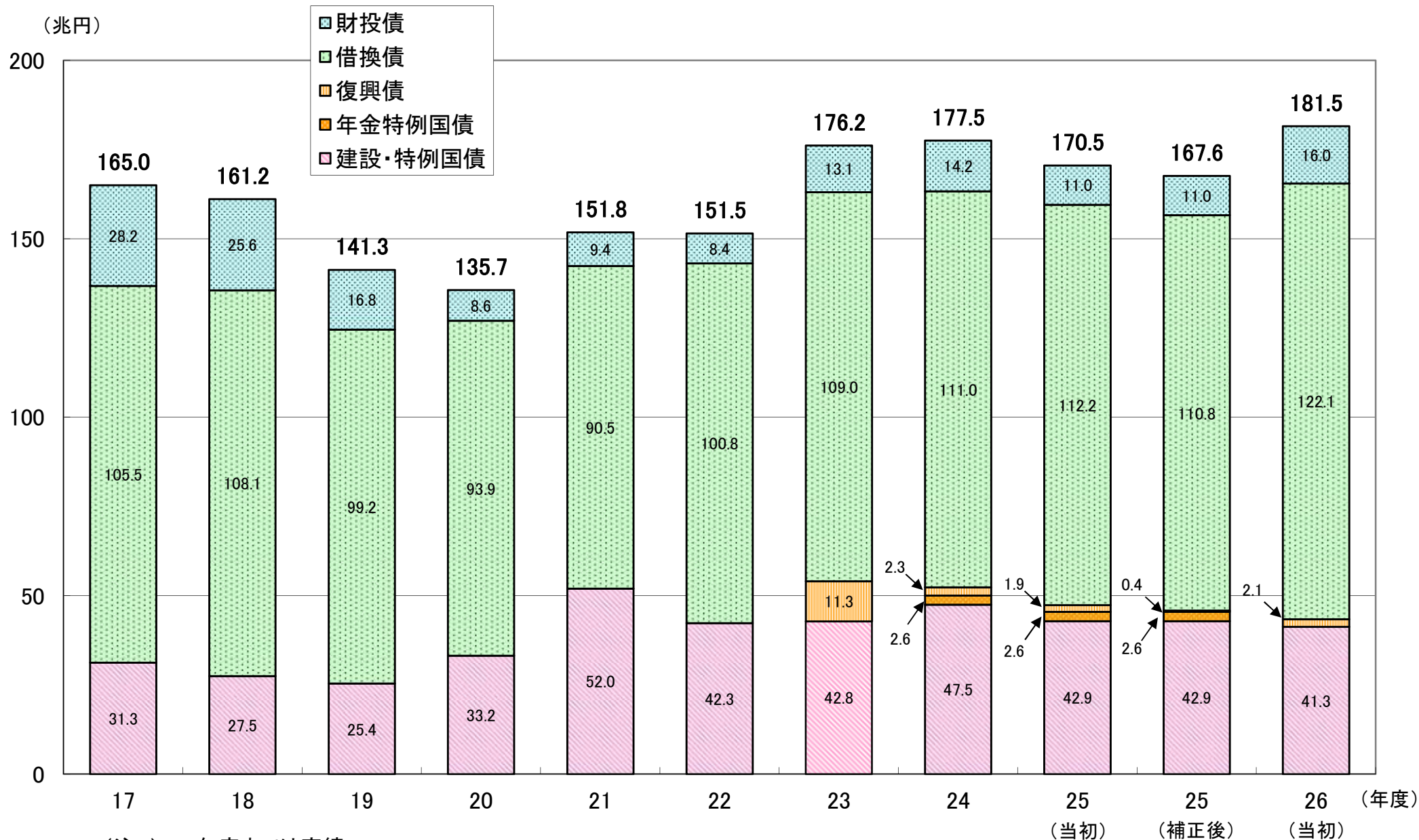
〈発行根拠法別発行額〉

区分	25年度(当初)	25年度(補正後)	26年度(当初)
建設・特例国債	42.9兆円	42.9兆円	41.3兆円
年金特例国債	2.6兆円	2.6兆円	—
一般会計分計	45.5兆円	45.5兆円	41.3兆円
復興債	1.9兆円	0.4兆円	2.1兆円
財投債	11.0兆円	11.0兆円	16.0兆円
借換債	112.2兆円	110.8兆円	122.1兆円
国債発行総額	170.5兆円	167.6兆円	181.5兆円

〈消化方式別発行額〉

区分	25年度(当初)	25年度(補正後)	26年度(当初)
市中発行分	156.8兆円	153.5兆円	167.9兆円
カレンダーベース市中発行額	156.6兆円	156.6兆円	155.1兆円
個人向け販売分	2.0兆円	2.4兆円	2.5兆円
日銀乗換	11.7兆円	11.7兆円	11.1兆円
合計	170.5兆円	167.6兆円	181.5兆円

# 国債発行総額の推移

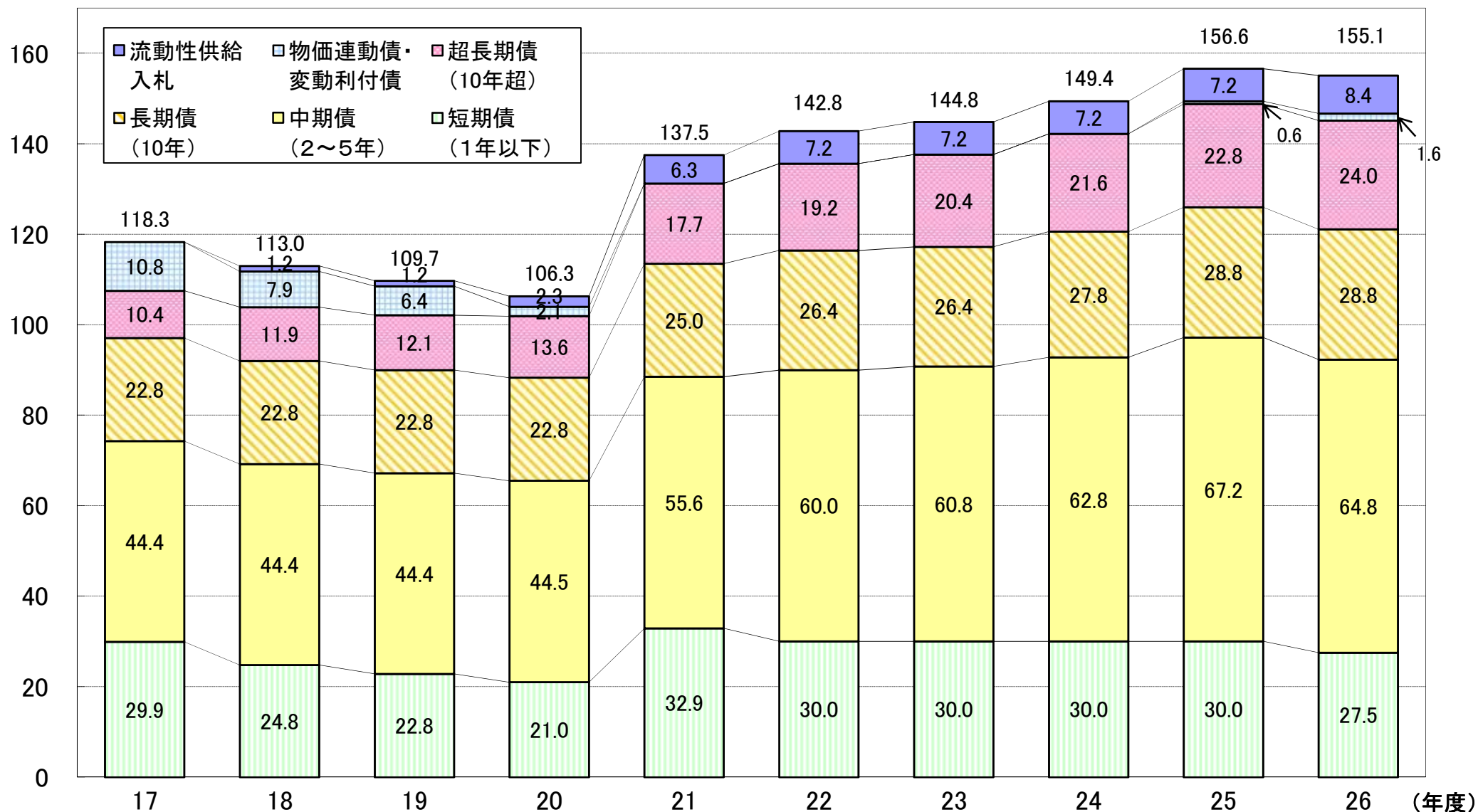


(注1) 24年度までは実績。

(注2) 各計数ごとに四捨五入したため、合計において一致しない場合がある。

# カレンダーベース市中発行額の推移

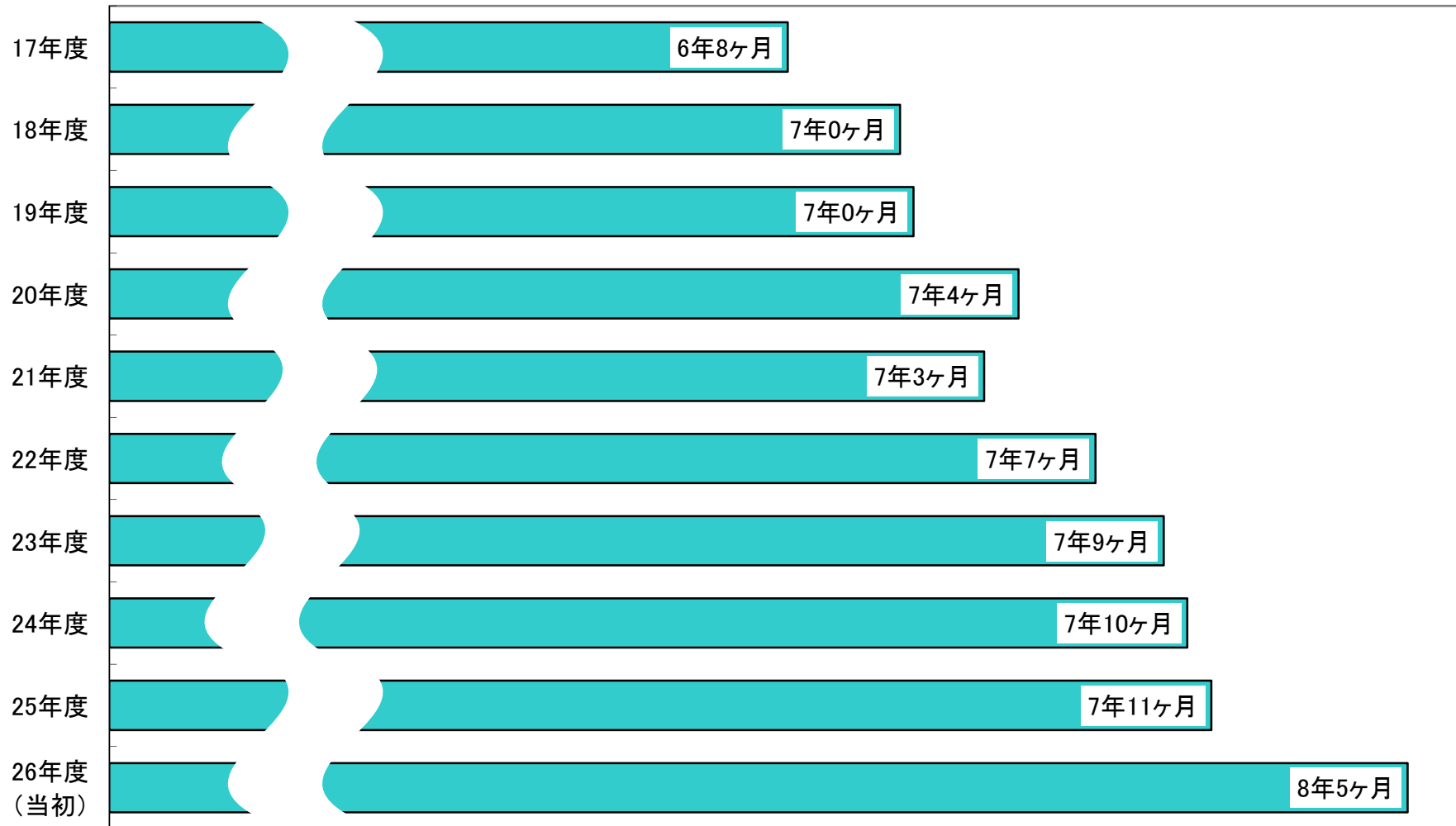
(兆円)



(注1) 24年度までは実績、25年度は実績見込み。

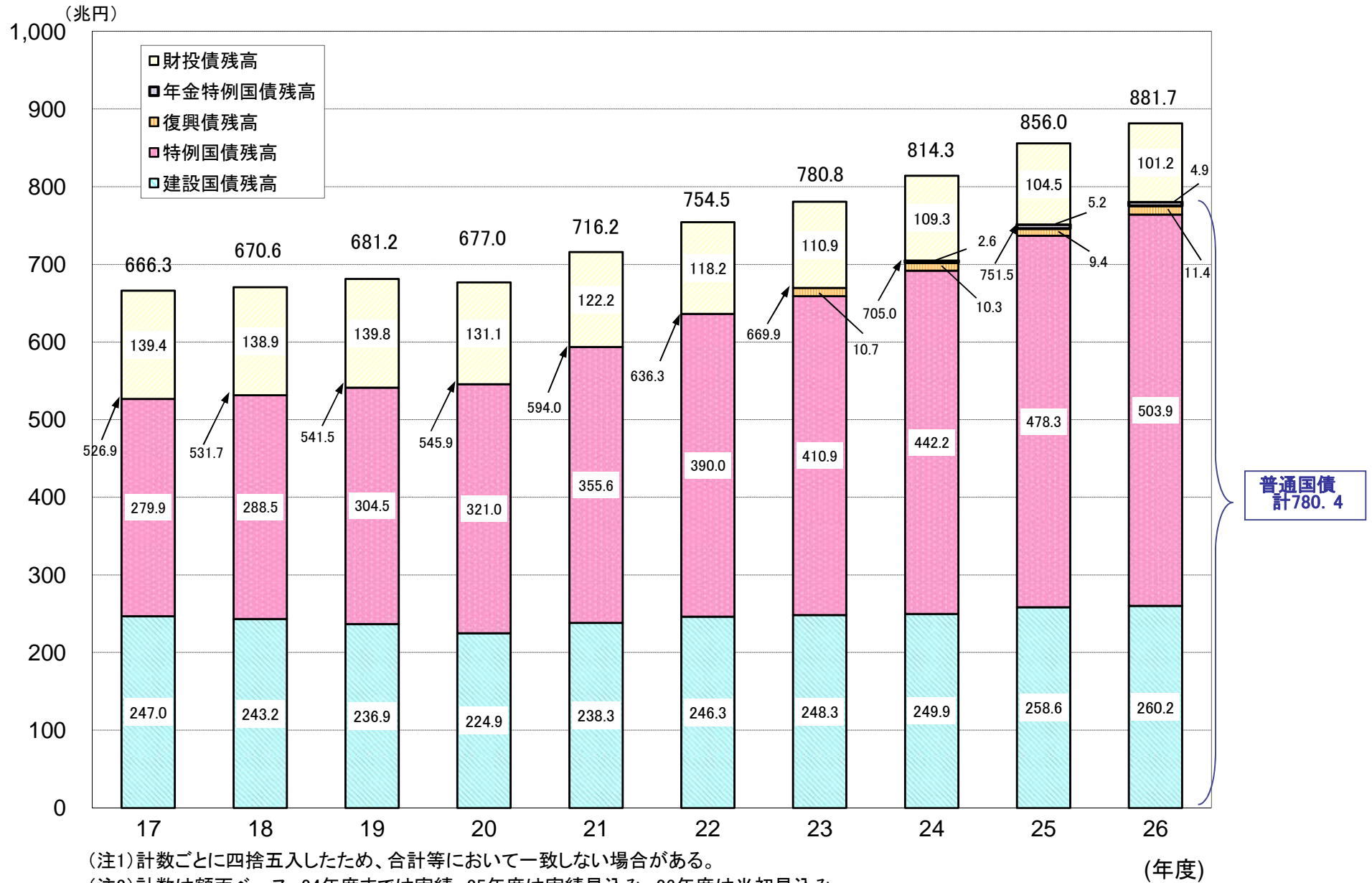
(注2) 短期債については割引債であり、中期債、長期債及び超長期債については固定利付債である。

# カレンダーベース市中発行額の平均償還年限



(注)24年度までは実績、25年度は実績見込み。

# 国債発行残高の推移

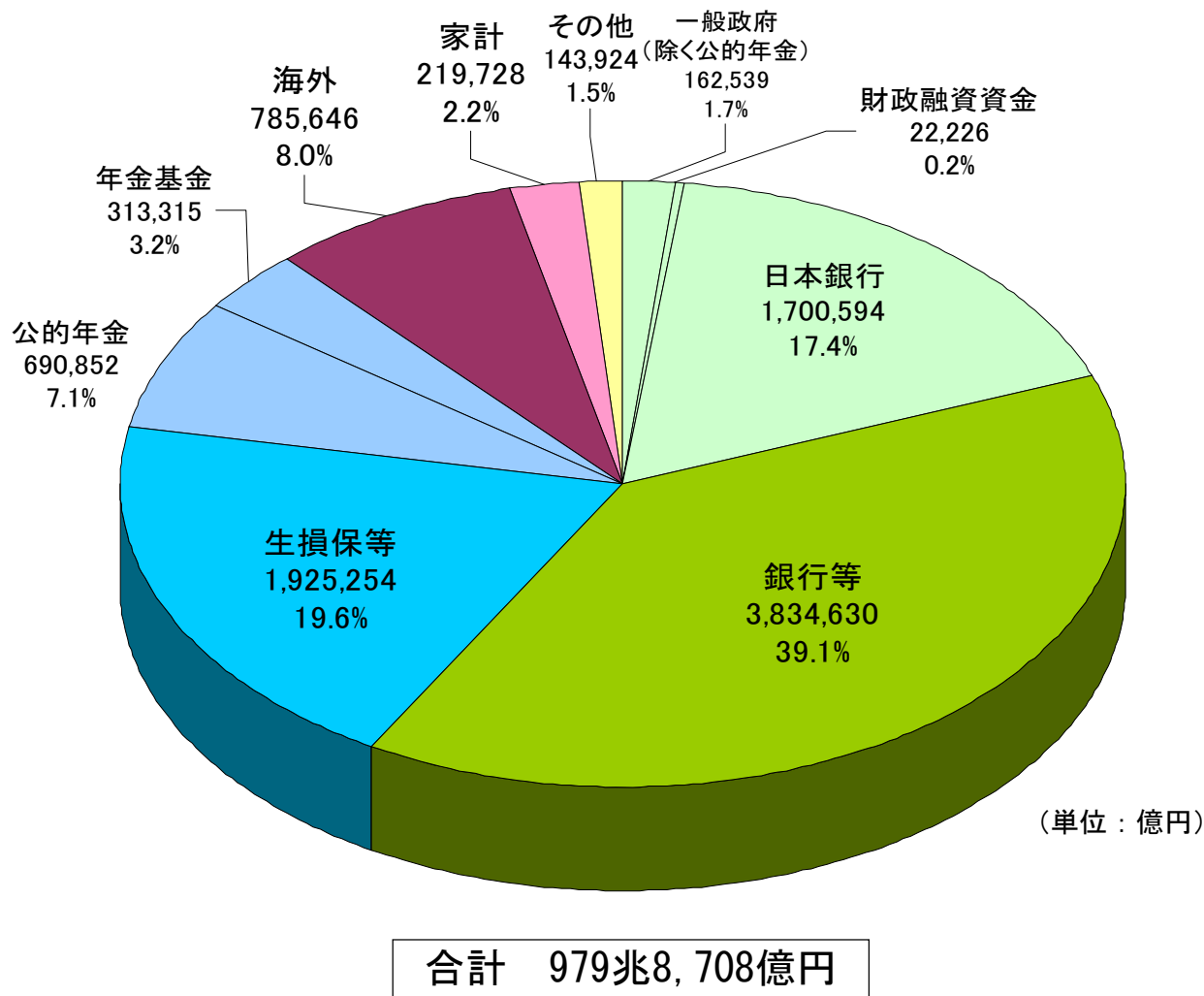


(注1) 計数ごとに四捨五入したため、合計等において一致しない場合がある。

(注2) 計数は額面ベース。24年度までは実績、25年度は実績見込み、26年度は当初見込み。

(注3) ここでの特例国債残高には、承継債務借換国債等を含む。

# 国債及び国庫短期証券(T-Bill)の所有者別内訳 (平成25年9月末(速報))



出所：日本銀行 資金循環統計

(注1)「国債」は財投債を含む。

(注2)「銀行等」にはゆうちょ銀行、「証券投資信託」及び「証券会社」を含む。

(注3)「生損保等」はかんぽ生命を含む。